

8 カミツキガメ

和名：カミツキガメ

英名：Snapping turtle

学名：*Chelydra serpentina*



【カミツキガメ】

(財) 東京動物園協会提供

(1) 動物の特徴と同定

分布：カナダ南部からアメリカ合衆国東部、中央アメリカ、南アメリカ北部

特徴：背甲は幅がひろくて大きく、後縁は鋸状に尖っている。腹甲は小さく十字形をしている。頭部は大きく嘴状の口も大きい。尾は太くて長く甲羅に隠れることはない。尾の背面には大きな突起が並んでいる。四肢も太くて頑丈で、指先に爪が発達している。ワニガメ *Macrolemys temminckii* に似るが、背甲の3本のキールが低く表面が比較的滑らかなこと、下顎の口内に赤いミミズ様の舌がないことなどで区別できる。

甲長：20～35cm、最大 47cm

体重：40kg になる。

習性等：

- ・ 4亜種、ホクベिकाミツキガメ *C.s.serpenntina*、フロリダカミツキガメ *C.s.osceola*、チュウベिकाミツキガメ *C.s.rossignoni*、ナンベिकाミツキガメ *C.s.acutirostris* に分けられる。
- ・ 池、沼や川などに住み、浅い泥底の水草の茂っているような場所を好む。汽水域でも生活できる。ほとんど水中で生活し、陸にあがることは少ない。昆虫、ミミズ、貝類、甲殻類、魚、両生類、爬虫類、水鳥、水草などあらゆるものを食べる。10～80個の球形の卵を産む。
- ・ 陸にあげて脅かすと四肢を突っ張って体を持ち上げ、大きな口を開けて威嚇し、隙があれば咬みつこうとする。
- ・ 我が国ではペットとして飼われていたものが、逃げ出したり放されたりして野生化している。

る。印旛沼周辺では繁殖も確認されている。

- ・飼育下で39年生きた記録がある。

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

噛み付きやすいので取り扱いに注意する。また、爪も鋭いため、全て作業にあたり、保定者は革手袋を装着する。

A 器具を使用しない保定法

器具を使用しない保定は避ける。

B 器具を使用した保定法

デッキブラシ等で威嚇し、甲羅の中に引っ込めた首をタオル等で甲羅の中に押し込み、ガムテープ等で固定し、後足のすぐ上で背側甲羅の両側を保持する。



【器具を使用した保定法】

C 特に注意すべき事項

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、原則的には麻酔は要らない。

イ マイクロチップの埋込みの方法

甲長が15cm以上から埋込みが可能となる。

A 埋込みの部位

左後肢皮下の窪んだ部分（小さい動物の場合、皮膚が薄いため筋肉内）



【マイクロチップ埋込み部位】

B マイクロチップ埋込みの実際

術部をイソジン綿、70%アルコール綿で消毒し、注入器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを挿入する。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。